

令和5年度 第12回天竜区協議会

次第

日時：令和6年3月21日（木）

午後2時00分から

会場：天竜区役所2階21・22会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 区長あいさつ

4 議 事

（1）協議事項

令和6年度地域力向上事業「市民提案による住みよい地域づくり助成事業」
について

（2）報告事項

令和6年度天竜区役所費の当初予算案の概要等について

（3）地域課題

ア 都市計画道路計画見直しについて

イ 区再編に伴う協議会の定数削減について

（4）その他

5 その他

次回開催予定

日時 令和6年4月23日（火）午後2時

会場 天竜区役所 2階 21・22会議室

6 閉 会

第9号様式

区 協 議 会

区 分	□諮問事項 ■協議事項 □報告事項					
件 名	令和６年度地域力向上事業「市民提案による住みよい地域づくり助成事業」について					
事業の概要 （背景、経緯、 現状、課題等）	地域力向上事業は、多様な主体が対等な立場に立ち、相互に活躍する取組を通じて住みよい地域社会を実現するため、区民の参加と協働により区の特性を活かした事業や課題を解決する事業。 ○市民提案による住みよい地域づくり助成事業 団体の提案に基づき、市が公益上の必要を認め、団体が主体的に取り組む事業に対し市から補助金を交付することで、効果が期待できる事業。					
対象の区協議会	天竜区協議会					
内 容	広報はままつ、市公式ホームページなどで広く募集している「令和６年度地域力向上事業市民提案による住みよい地域づくり助成事業」に、３件の応募があった。 これについて、天竜区地域力向上事業審査会の審査を経て、３件の採用候補事業を選定した。 採用候補とした事業について、天竜区協議会のご意見を伺うもの。 提案数 ３件 採用候補とした事業 ３件					
備 考 （答申・協議結果を得たい時期、今後の予定など）	区協議会の意見を参考に、後日、区長が採用可否を決定。					
担当課	区振興課	担当者	大石 訓康	電話	922-0013	

令和6年度 地域力向上事業

市民提案による住みよい地域づくり助成事業
(年度当初募集)

事業提案書

令和6年3月21日

天竜区協議会

令和6年度 地域力向上事業

「市民提案による住みよい地域づくり助成事業」

No.	事業名	提案者(担当課)	区分 補助率	概算事業費 (円)	交付希望額 (円)
	事業の目的		事業の概要		
	審査会の考え方(実施要綱の該当要件)		採用の可否	補助限度額(円)	

1	「白井鐵造～犬居の風～」ミュージカル創作体験事業	「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会 (天竜区まちづくり推進課)	新規 50%以内	818,277	409,000
	白井鐵造は明治33年生まれの天竜区春野町出身で、宝塚歌劇団・演出家の草分け的存在として日本近代演劇に大きな影響を与えた。その偉大な足跡を市内の子どもたちに伝えていくとともに、豊かな人間性と多様な個性を育成することを目的とする。		・子どもたちが白井鐵造についての理解を深めるための、ミュージカル「白井鐵造物語～犬居の風～」の企画・創作。 ・実行委員会と春野町でミュージカルに精通した人による子どもたちへの指導。		
	【実施要綱第4条(4)文化・スポーツ・生涯学習の振興に関する事業に該当】 1 提案団体は、地域の歴史や自然・文化に着目したミュージカル活動を通して、子どもたちの豊かな人格形成、郷土の歴史や文化の継承に寄与しており、実績も十分である。 2 提案事業は、未来を担う子どもたちが、天竜地域の偉人をテーマに芸術文化活動を行うことで、子どもたちが地域の歴史に目をむけるきっかけになる。また、作品を発表することにより地域内外にPRすることが期待できる。		採択が適当である。		409,000

令和6年度 地域力向上事業

「市民提案による住みよい地域づくり助成事業」

No.	事業名	提案者(担当課)	区分 補助率	概算事業費 (円)	交付希望額 (円)
	事業の目的		事業の概要		
	審査会の考え方(実施要綱の該当要件)		採用の可否	補助限度額(円)	

2	佐久間アートプロジェクト 2024	シン・サクマ 計画 (佐久間支所)	新規 50%以内	1,500,000	750,000
	・佐久間駅舎へのアートウォール設置による利用者環境の向上 ・地域住民と市街地の学生との交流 ・佐久間町の知名度向上による観光の促進		・佐久間地域内の生徒・児童と静岡文化芸術大学により、JR飯田線佐久間駅舎内に約15平米のアートウォールを作画し設置する。		
	【実施要綱第4条(1)「地域コミュニティづくりに関する事業」に該当】 1 提案団体は、佐久間町の活性化を目的として設立され、地域住民、企業、学校など関係構築を積極的に図りながら活動しており、実績もある。 2 提案事業は、佐久間地域内の生徒・児童と市街地の大学が協働して事業を進めることにより、新たなコミュニティが形成される。		採択が適当である。		750,000

令和6年度 地域力向上事業

「市民提案による住みよい地域づくり助成事業」

No.	事業名	提案者(担当課)	区分 補助率	概算事業費 (円)	交付希望額 (円)
	事業の目的		事業の概要		
	審査会の考え方(実施要綱の該当要件)		採用の可否	補助限度額(円)	

3	第2回春野のまち勉強会	浜松調理菓子 専門学校 (春野支所)	継続(2回目) 40%以内	500,000	200,000
	地産地消(承)として、天竜地区の食材を知 ことを目的に、安全で美味しいジビエ料理の正しい知 識を食材から加工まで、これからを担う若者が知 り、地域の食材を活かした新規事業を立ち上げるた めの学びの場をつくる。		・ 新たな参加者による第2回ジビエ勉強会 の開催 ・ 勉強会参加者による意見交換会の開催 ・ 新たなジビエ料理や特産品を生み出すた めの開発プロジェクトの実施		
	【実施要綱第4条(6)地域の特性を活かしたまち づくり事業に該当】 1 本事業は、将来有望な学生がジビエや地域の食 材の知識を持つことで、新たな商品開発や新規 事業の立ち上げが期待できる。 2 地域の食肉農産物の生産者にとっては食材を地 域外の若者へPR できる良い機会となる。		採択が適当である。		200,000



(第6条関係)

事業提案書

令和6年1月31日

(あて先) 浜松市長

所在地

団体の名称

「龍水の都」文化体験プログラム

実行委員会

代表者役職・

氏名

代表 大角 夫美

連絡先

次のとおり、事業を提案します。

事業名	「白井鐵造物語～犬居の風～」ミュージカル創作体験事業
実施時期	令和6年10月6日(日) ～ 令和7年1月20日(月)
実施場所	浜松市天竜壬生ホール
概算事業費	818,277円
参加予定人数	団体スタッフ：15名 参加者：60名程度(応募)
事業の内容 (事業の対象や手法などを具体的に記入)	当事業は、子どもたちが白井鐵造について理解を深めるため、「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会(以下「実行委員会」)によるミュージカル「白井鐵造物語～犬居の風～」を企画・創作します。 企画・創作にあたっては、実行委員会とともに、春野町でミュージカルに精通した人の指導を仰ぎながら、より身近な演出等を心がけます。 また、春野町の子どもたちの参加も募り、町ぐるみで盛り上がる仕立てにしていきます。
事業の目的	白井鐵造(本名：虎太郎)は、明治33年(1900年)天竜区春野町(旧周智郡犬居村)の出身で、宝塚歌劇団・演出家の草分け的存在として日本近代演劇に大きな影響を与えました。 白井鐵造は、若き情熱と英知を傾けあらゆる苦悩を超えて、やがて歌劇の世界に輝かしい業績を築きました。 その偉大な足跡について浜松市の未来を担う子どもたちに伝えていくとともに、子どもたちが偉人の生き方を学ぶ中から豊かな人間性と多様な個性を育成することを目的とします。

地域資源 の活用	本田宗一郎や秋野不矩とともに白井鐵造は地域の人遺産であり、ミュージカル「白井鐵造物語〜犬居の風〜」を企画・創作することにより生き方を感じ、地域を見つめ直す良いきっかけとなる。
地域課題	子育て世代の流出や高齢化が進むなか、地域に住むことの誇りが失いつつあり、それが地域の賑わいや活力低下となっている。
事業の妥当性	浜松市の未来を担う子どもたちが、偉人の生き方を学ぶ中から、地域に愛着と誇りを持ち、子供たちの健全育成や感性教育に大きな効果を有する。
公益性	企画・創作にあたっては、実行委員会とともに、地域でゆかりのある人の応援・協力を仰ぎながら、より身近なものになるように演出を心がける。それにより、新たに地域のつながりを生み出すなど地域の元気を構築できる。
財政支援 の妥当性	学校・学年の枠を超えて子供たちが切磋琢磨し舞台を創り上げることにより、これからの社会に必要な創造的思考力やコミュニケーション能力の育成につながっていく。

裏面に続く

収支予算書

1 収入の部

単位: 円

区分	予算額	経費内訳(単価・数量)
補助金	409,000	地域力向上事業補助金(市民提案による住みよい地域づくり助成事業費補助金)
計	818,277	

2 支出の部

単位: 円

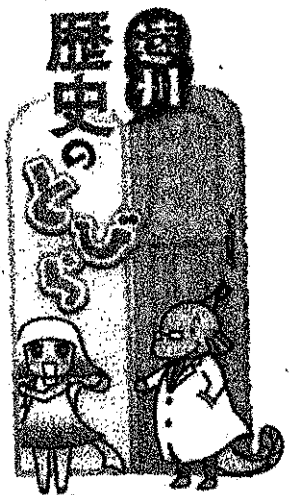
区分	予算額	経費内訳(単価・数量)
報償費	356,384	◆司会料(公開リハーサル) @22,274円×1人×1日= 22,274円 ◆創作指導料 @22,274円×2人×6日= 267,288円 ミュージカル @11,137円×1人×6日= 66,822円 ダンス
需用費	16,000	◆教材費 @200円×40人×1稿 = 8,000円 ミュージカル @200円×40人×1稿 = 8,000円 ダンス
委託料	330,000	◆舞台製作費 一式 330,000円 ・公開リハーサル分
使用料及び賃借料	115,893	◆施設使用料 ・壬生ホール使用料 115,893円 【内訳】 ・天竜壬生ホール(リハーサル室) @330円×7.0h×6回 = 13,860円 ミュージカル @410円×3.0h×6回 = 7,380円 ダンス ・天竜壬生ホール A. ホール使用料 午前準備 午後準備 夜間本番 夜間片付け (3,115円+4,150円+9,090円+1,298円)×1回 = 17,653円 B. ホール附帯備品使用料 @55,000円 ×1式= 55,000円 C. 映像機器使用料 @22,000円 ×1式= 22,000円 ※スクリーン、プロジェクター他
計	818,277	



●白井鐵造の遺品や宝塚歌劇団の資料が展示されている白井鐵造記念館。浜松市天竜区で、白井鐵造の生誕地でもある同記念館提供



■もっと知りたい方へ
見学場所：白井鐵造記念館 浜松市天竜区青野町宮川1768
(入館無料)



<254>

白井鐵造

宝塚歌劇団の育ての親・白井鐵造(1900-83)は、今の浜松市天竜区青野町の職人の家に生まれました。学校の成績は優秀でしたが、講義本を読むよりも、年に一度村に来る芝居を見るのが一番の楽しみでした。鐵造は弟子入り

みといふ子でした。

小学校を卒業し、浜松の染色会社に勤めて5年目のことです。有名なバイオリニストとオペラ歌手が日本人のオペラ団をつくり、アメリカに行くニュースを知りました。鐵造は弟子入り

をお願いで、オペラを習うことになりました。アメリカ行きは実現しなかったものの、音楽や舞踊、演劇の勉強を重ねました。1921(大正10)年のこと。宝塚少女歌劇団(今の宝塚歌劇団)に入団して、バレエや歌を学び、脚本も作ることができるよう指導者として、宝塚音楽歌劇学校の助教になりました。翌年上演したお伽歌劇「金の班」は鐵造が脚本や振り付けを担当した初の作

宝塚の舞台 感動が原点

品々ダンスシーンをかんたんに盛り込み、好評を博しました。27(昭和2)年、4千人収容の大劇場で、日本で最初に戦と勝利に時事風刺劇を組み合わせたレビューを取り入れた師匠の作品「モン・パリ」を上演しました。幕なし16場、登場人物延べ数百人、上演時間1時間半という、当時では想像もできない豪華な舞台です。鐵造は振り付けを任ざられ、拍手喝采を浴びました。ライオンダンスもフィナーレの大団圓もこの時に日本です。鐵造は感動しました。昭和初期の日本に、ヨーロッパの風情を持ち込んだ斬新な試みでした。翌年、鐵造はミュージカル全盛のアメリカと、レビュー全盛のイギリスとフランスに視察・研修に行きました。30(昭和5)年に帰国すると、演出・脚本・作詞・振り付けの全てを一人で担った「モン・パリ」を上演しました。「モン・パリ」をのべ人気で3カ月の続演になりました。劇中では鐵造が日本語の時を付けたシャンソンを披露し、主題歌の「すみれの花咲く頃」は、今でも宝塚を代表する歌になって歌い継がれています。鐵造が生誕を振り返った言葉を紹介します。「わが人生といえば、驚きの連続。みたいなのじゃありませんか。パリに行った時も無邪気に仰天しましたが、この「驚き」が私の出発点だし、そういう感動によって宝塚の舞台を作ってきたのでしょね」(山崎章成・本紙NIEコーディネーター)



歴史のともじり
最寄りの
本紙販売店へ 053(421)5811
中日新聞販売部
三刊決定



2024年 2月 21日

(あて先) 浜松市長

所在地

団体の名称 シン・サクマ計画

代表者役職・ 代表

氏 名 浅野孝記

連絡先 TEL

次のとおり、事業を提案します。

事業名	佐久間アートプロジェクト 2024
実施時期	2024年4月1日(月) ～ 2024年12月31日(火)
実施場所	JR飯田線「佐久間駅」/ 佐久間中学校 / 静岡文化芸術大学 他
概算事業費	1,500,000 円
参加予定人数	団体スタッフ 約20名、参加者 約40名
事業の内容 (事業の対象や手法 などを具体的に記入)	JR飯田線「佐久間駅」駅舎内に約15平米のアートウォールを作画し設置する。尚、アートウォールのモチーフは佐久間関連であり、作画は佐久間小学校、中学校、高校と静岡文化芸術大学の大学生を想定している。
事業の目的	事業における最終目的は佐久間町の活性化促進である。2次目標として3点を掲げており、1点目は佐久間駅駅舎へのアートウォール設置による利用者(住民・観光客)環境の向上による貢献。2点目は地域児童(佐久間小・中・高)と浜松市街地大学生の協働制作による交流の促進(相互の場所を数回ずつ来訪する事で理解を深める)。また、作画の案を構成するにあたり、地域住民への聞き取りを行う事で、地域住民との交流、地域資源の再発見を行う。3点目は佐久間町の知名度向上による観光の促進。
地域資源 の活用	アートウォールのモチーフは佐久間町の風物・景観・歴史となり、駅舎に来訪した利用者の目に留まる。また、佐久間小学校・中学・高校の児童・学生が参加する。
地域課題	「佐久間アートプロジェクト2024」が取り組む地域課題は主に2点存在し、1点目は佐久間町の認知度を如何に向上させるか(浜松市街地でも認知度が低い実態が存在する)、2点目は佐久間町の風物・景観・歴史をどのように次世代に繋げるかという課題である(少子化、若者人口の流出現象により風物・景観・歴史を引き継ぐ佐久間町在住の若者層が減少している)。
事業の妥当性	佐久間小学校・中学・高校と静岡文化芸術大学大学生の協働によるアートウォール制作は話題性を得やすく、新聞、テレビのメディア取材に対し積極的なアピールを行う。また、室内のアートウォールは10年～20年間存続するために多くの駅舎利用者の目に触れる(佐久間駅15名/日×365日×10年で延べ55000名)。

<u>公益性</u>	駅舎という著しく公共性の高い施設への設置である点、佐久間小学校・中学・高校の地域在住児童・学生が参加する事で「自分達の町という意識の醸成」が図れる点、認知度向上による観光客増加による収益増の点、風物、景観、歴史が描かれる事での「佐久間町のアイデンティティ」の再認識が確認できる点。
<u>財政支援 の妥当性</u>	浜松に関連する「産・官・学」が一体となった任意団体(浜松近隣企業、地域おこし協力隊、静岡文化芸術大学)が実施をする事で多領域視点での地域活性化施策となる点で差別化が図られている。また、公共性が高く、地域児童・学生への教育意義も強いために適切な運営を実施するために行政補助を求めるものである。 次に財政支援の妥当性の観点から鑑みると、地域課題で述べた「佐久間町の認知度を如何に向上させるか(浜松市街地でも認知度が高くない実態が存在する)」「佐久間町の風物・景観・歴史をどのように次世代に繋げるか」という二つの課題が本プロジェクトを遂行することで改善される事が見込まれるため、財政支援に対する佐久間への還元が為されると考える。具体的には各種メディア露出、話題性による認知度の向上、アートウォールという視覚表現とすることでの記憶の継承がなされるという事である。

第2号様式 (第6条関係)

収支予算書

1 収入の部

単位:円

区分	予算額	経費内訳(単価・数量)
補助金	750,000 円	地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
計	1,500,000 円	

2 支出の部

単位:円

区分		予算額	経費内訳(単価・数量)
報償費			
賃金			
旅費		600,000 円	佐久間町/浜松市往復バスチャーター (6回分)
需用費	消耗品	400,000 円	画材、資材(1式)
役務費			
委託料		500,000 円	アートウォールを駅舎に設置する委託費(1式)
使用料及び賃借料			
原材料費			
計		1,500,000 円	

第1号様式（第6条関係）

事業提案書

令和6年 2月 13日

（あて先）浜松市長

所在地

団体の名称 浜松調理菓子専門学校

代表者役職・ 校長 友永 茂雄

氏 名 （署名又は記名押印してください。）

連絡先 TEL

次のとおり、事業を提案します。

事業名	第2回 春野のまち勉強会
実施時期	2024年4月15日（月） ～ 2025年3月10日（月）
実施場所	春野いきいき天狗村
概算事業費	500,000 円
参加予定人数	団体スタッフ 10名 、参加者 50名
事業の内容 （事業の対象や手法などを 具体的に記入）	【令和5年度】 ジビエ工房ジミート高林氏とフランス料理店「LA SALIVE」鈴木氏による、ジビエを通して命の恵や感謝を学ぶために、鹿の解体から加工調理までを知る体験型ジビエ勉強会を開催。春野いきいき天狗村を利用して、山ちゃんファーム様や春野コーポレーション様など地元企業とも連携し、生産した食材を知るための「命の恵みを頂く会」（試食会）を開催。春野町の魅力である浜松ジビエを「知る」きっかけづくり。 【令和6年度】 昨年度同様に、新入生へ向けてのジビエ勉強会及び命の恵みを頂く会（上記内容）を引き続き開催予定。 以下、次のステップとして ・春野のまちと学校（学生）が新たなビジネスを創り出す意見交換会 →ジミート高林氏、LA SALIVE 鈴木シェフ立会いのもと、学生が意見を出し合い食の未来について語り合う機会をつくる ・意見交換会や勉強会から得た情報や知識をもとに、新たなジビエ料理や特産品を生み出す開発プロジェクトをスタート。 →浜松市内のホテルや料理関係者と連携、または地元企業様とのコラボなどで商品開発をするための意見交換会を実施予定。 →その後、本校にて食育授業の一環でジビエ試作開発を進める

裏面に続く

事業の目的	【街×人×学校から生まれる「地産地消（承）」】 豊富な食材からジビエ文化まで幅広く魅力のある町を通して、次の世代を担う学生たちへの学びとなる知ることのきっかけづくり。また、学生の若い力と春野町の魅力を掛け合わせた地域コミュニティ作りから始まる、3ヶ年計画の2年目として地域の特性を活かしたジビエ料理の商品開発を目的とする。
地域資源の活用	・学生×街×企業と連携して、ジビエや春野野菜など春野の食材を活かした商品開発プロジェクトを開始。地域へ還元する仕組みを企画。
地域課題	・浜松の狩猟者について知る。ハンターの減少と高齢化などジビエを通して、野生生物による被害、鹿や猪が増えた理由を「知る」ことで地域課題を理解する。
事業の妥当性	・浜松ジビエを知ること、ジビエ文化の課題に向き合うきっかけとなる。多くの学生に知ってもらうことで、ジビエを通して春野の魅力を発信できる。
公益性	・学生と地元企業などのコラボによるジビエ食の商品開発プロジェクトを始動。商品化となれば春野の特産品として地元へ還元ができる仕組み。
財政支援の妥当性	・本校が掲げている「食から未来をつくる」をテーマに、次の世代を担う学生への教育の一環と、街×人×学校の連携による新しいビジネスへの挑戦が可能。

第2号様式 (第6条関係)

収支予算書

1 収入の部

単位：円

区分	予算額	経費内訳(単価・数量)
補助金	¥200,000	地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)…2年目 40%
計	¥500,000	

2 支出の部

単位：円

区分	予算額	経費内訳(単価・数量)
食料費	¥100,000	鹿肉 (¥60,000) 肉類 (¥30,000) 野菜 (¥10,000) など食料材(試食会用)として
広告費	¥30,000	ポスター1,000枚作成
活動費	¥170,000	打ち合わせ交通費、商品開発費用 施設利用料(意見交換会などの打ち合わせ)
使用料及び賃借料	¥100,000 ¥100,000	大型バス利用料 春野いきいき天狗村施設利用料
計	¥500,000	

第9号様式

区 協 議 会

区 分	☐ 諮問事項 ☐ 協議事項 ☒ 報告事項				
件 名	令和6年度天竜区役所費の当初予算案の概要等について				
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	令和6年度浜松市予算編成における天竜区役所費に関しては、9月開催の区協議会にて諮問を行い、10月開催の区協議会において答申を得た。				
対象の区協議会	天竜区協議会				
内 容	令和6年度天竜区役所費の当初予算案の概要等について報告するもの。 詳細は次頁のとおり。				
備 考 (答申・協議結果を得 たい時期、今後の予定 など)					
担当課	天竜区・区振興課	担当者	鈴木 宏行	電話	922-0011

令和6年度 天竜区役所費 予算案の概要

(単位：千円)

費用項目	R6年度当初 予算額A	R5年度当初 予算額B	増減 (A-B)	内 容
天竜区役所費	427,321	451,105	△ 23,784	
人件費（附属機関の委員等）	1,762	1,906	△ 144	区協議会委員報酬（職員の人件費は本庁予算のため本表には計上していない）
区管理運営事業	112,489	126,249	△ 13,760	庁舎、公有財産、公用車の維持管理、区役所運営に要する経費
支所等管理運営事業	184,090	196,129	△ 12,039	天竜区内の支所、ふれあいセンター、附設体育館の管理運営に要する経費
（新規）地区コミュニティ協議会事業	250	0	250	地区コミュニティ協議会の運営に要する経費
区協議会運営事業	225	190	35	天竜区協議会の運営に要する経費
地域力向上事業	28,209	30,601	△ 2,392	
市民提案による住みよい地域づくり助成事業	3,500	3,500	0	市民協働の理念のもと、市民提案やアイデアを基に実行する事業に対する補助金
区民活動・文化振興事業	17,269	17,483	△ 214	市民協働の観点を取り入れた、地域の活性化に要する経費 ・すみれの里づくり事業 など
区課題解決事業	6,690	9,618	△ 2,928	市民協働の観点を取り入れた、区内の課題解決に要する経費 ・いっかもないか事業 など
協働センター等を核とした地域課題解決事業	750	0	750	市民協働の観点を取り入れた、地域課題解決に要する経費
行政連絡事業	31,968	28,636	3,332	行政連絡業務にかかる委託に要する経費
自治会振興事業	21,268	22,968	△ 1,700	
自治会集会所整備助成事業（補助金）	393	1,648	△ 1,255	各自治会所有の集会所の施設整備に対する補助金
防犯灯設置維持管理助成事業（補助金）	14,875	15,320	△ 445	防犯灯設置や維持管理（電気料、修繕料）にする補助金
原材料支給事業	6,000	6,000	0	地域住民が自ら行う集落道及び水源管理道の整備等に対する原材料の支給に要する経費
鹿島花火大会開催事業（負担金）	5,300	6,768	△ 1,468	鹿島花火大会開催の警備及び仮設トイレ設置等に対する負担金
天竜区交流促進事業（負担金）	12,349	12,005	344	天竜区各地（天竜、春野、佐久間、水窪、龍山）の産業観光まつりの警備及び会場設営等に対する負担金
森林のまち童話大賞事業	7,141	1,463	5,678	森林のまち童話大賞事業実施に要する経費
天竜区駅伝大会事業（負担金）	1,905	3,845	△ 1,940	天竜区各地（天竜、春野、水窪）の駅伝大会の警備及び会場整備等に対する負担金
ローカルコープ構想推進事業	19,963	0	19,963	水窪地域ローカルコープ構想の実装に向けての準備に要する経費
区再編準備事業	0	19,449	△ 19,449	天竜区の区再編準備に要する経費
区役所デジタル運営経費	402	896	△ 494	天竜区のデジタル関連事業に要する経費

令和6年度 地域力向上事業一覧

No	事業名	
市民提案による住みよい地域づくり助成事業		継続
区民活動・文化振興事業		
1	天竜区ツーリズム創出事業	継続
2	天竜区文化振興事業	継続
3	市民協働による文化振興事業	継続
4	文芸誌「天竜文芸」発行事業	継続
5	天竜区青少年事業	継続
6	すみれの里づくり事業	継続
7	蕎麦の里づくり事業	継続
8	天竜川とともに生きる文化伝承事業	継続
9	水窪仮装コンクール	継続
10	綱引きによるまちづくり推進事業	継続
11	秋葉ダムさくらマラソン大会開催支援事業	継続
区課題解決事業		
1	天竜区伝統文化振興事業	継続
2	天竜区河川環境保護事業	継続
3	狩猟従事者事故防止・後継者育成事業	継続
4	春野地区不法投棄防止パトロール事業	継続
5	いっかもないか事業	継続
6	協働センター等を核とした地域課題解決事業	予算組替
7	ローカルコープ構想推進事業	予算組替
協働センター等を核とした地域課題解決事業		継続

